

プログラム PROGRAM

平成19年 大規模 津波 防災 総合訓練 つなみ

解説者：
東北大学大学院工学研究科附属災害制御研究センター教授
今村 文彦氏

訓練の目的

今後30年以内に99%の確率で発生するといわれている宮城県沖の地震や、明治三陸型の地震など日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震は、甚大な被害が出ると想定されています。これらの地震津波による被害の軽減を目指して、大規模津波防災総合訓練を行います。

訓練は、住民の避難訓練、地震津波情報の収集・伝達、漂流者救助・救急、応急復旧、物資輸送訓練等を沿岸地域住民と防災関係団体・機関が協力、連携し実施します。

